

【第 2 回療育研修会開催報告】

・開催日：令和6年 10 月 26 日（土）

・内容：テーマ『生活の中の作業療法～保育士と作業療法士の協働～』

<第 1 部>（13:30-15:00）

講演 『作業療法士の視点を取り入れた保育に』

福井市立松本保育園 保育士 谷口 晴衣先生

『生活の中の作業療法～保育士と作業療法士の協働～ 』

フリーランス 作業療法士 山本 恵子先生

<第 2 部>（15:00-16:30）

グループワーク 『みんながすごしやすい環境ってなんだろう』

作業療法というと病院や児童発達支援事業所といった限られた場面で行う特別なもの という印象をもたれることがあります。そうではなく、日常生活の中に少し作業療法の視点を取り入れることで、子どもたちの育ちを支えていける環境・かかわりの工夫がたくさんあるということをお伝えしたいと思い今年度は『生活の中の作業療法』をテーマに研修会を企画しました。

第2回は、県内での活動にスポットをあて、第一部では作業療法士を迎えている園の先生、園に向いている作業療法士の先生から保育士と作業療法士が協働することの意味、得られることなどをお話して頂きました。

第二部のグループワークでは、実際の園での活動の様子（朝のおあつまり、製作、給食）の動画を視聴し、グループで動画をみて気づいたことを出し合い、それをもとに各々が実際にしている支援やこんな支援方法はどうかなどをあげ話し合いを行いました。グループで話しをすることで新たな気づき、視点を得ることが出来ました。

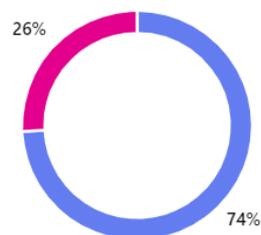
・参加人数：39名

・アンケート結果：

<第 1 部>

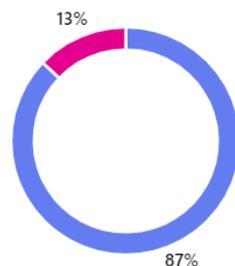
①谷口先生講演

● とても参考になった	23
● 参考になった	8
● あまり参考にならなかった	0



②山本先生講演

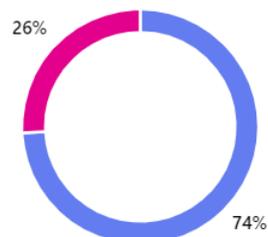
● とても参考になった	27
● 参考になった	4
● あまり参考にならなかった	0



<第 2 部>

グループワーク

● とても参考になった	23
● 参考になった	8
● あまり参考にならなかった	0



・参加者の声 (一部)

- ・様々な方々と意見交換やアイデアが聞けて大変勉強になりました。
- ・地域の中の作業療法士の役割について再認識できた。
- ・実際の保育の様子を見ながらグループワークをしたことで、いろんな先生方のアイデアを聞くことができたので、明日のからの保育に意識して取り入れていきたいと感じました。また、自園でも姿勢が崩れやすい子が多いので、腹筋やお尻の筋肉を刺激するような遊びを取り入れ、楽しみながら姿勢保持につながるようにしていきたいと思いました。
- ・いつも個別でしか関わらないので、集団の様子をみられてよかったです。
- ・保育の中での実践が聞けてとてもおもしろかった。OT が保育園でどのように一緒に過ごしているのか少し知ることができた。OTの可能性が広がったように感じた。

- ・自園にも作業療法士に来て頂きたいと思った。
- ・グループワークのテーマ(目的)がいまいち理解できず、どのような事を話せばよいか掴めないままに終わった感じでした。
- ・グループワークの経験が少ないのでよい経験になった。
- ・話合いの時間がもう少しとれるとよかったです。実際の保育現場の様子を見て職種の違う立場から話を聞ける機会は貴重でありがたかったです。
- ・保育士が悩んだその時に相談できる機関があるといいなと思いました。相談先の紹介や、よくある問題への具体的対処方法などを学べると嬉しいです。
- ・学童クラブでの発達障がい児への対応を知りたい。

